

ぶな

2021年8月号

NO, 509



滋賀県勤労者山岳連盟 比良雪稜会

熟年者のひとりごと

自分の山旅の原点を振り返ってみた。

私の本格的な夏山挑戦は60才を目前にした2004年の8月に「白山」がスタートです。初心者のこの時は仲間に大きく差をつけられ必死で室堂平にたどり着いた記憶が残っています。

そして2012年6月号の「ぶな」の思い出の山にこんな文章を寄稿している。

【今の様に山にのめりこんで行ったのは何時頃からだろうと思い返してみるとやっぱり2007年8月の北アルプス2泊3日の『朝日岳山行』に行き当たります。蓮華温泉から入り二日目には白馬大池の横で「ハクサンコザクラ」の群落と「コマクサ」を見てシナノキンバイが咲き乱れる中を小蓮華山に登り、雪倉山ではウルップソウに目を見張りました。三日目にはキヌガサソウ、イワイチョウ等々と、またまたワンツーパンチを受け完全にノックアウトです】

それ以降はどんどんと「アルプス中毒」にのめり込んでいます。

自然の造形や景色にかなうものはありません、これぞ山旅を魅惑的に演出して楽しみに置き換えてくれます。

こんな魅力的な山が、風景が手近な湖西の山にもありました。

私達の裏山の権現山から蓬莱山の稜線歩きです。瀬田方面から琵琶湖大橋、竹生島までの琵琶湖の遠望や鈴鹿から伊吹山、湖北の山々から南西側の京都の山々など360度の大展望を楽しみながらの尾根歩きは大好きです。この風景を楽しみに春の芽吹きに始まり初夏の萌黄色まで来る度に違う木々の色、風の香りを感じながら「ぼう～と山歩き」にこの稜線に何度も（冬山以外に）通っています。

この稜線に名前を付けれるなら「天空の遊歩道」と命名したいです。

こんな「ぼう～と歩ける」山歩きを滋賀でもっともっとたくさん楽しみたいです。

アル中 H部F男

目 次			
【巻頭言】	熟年者の独り言	H部F男 男	1
【目 次】			2
【例会山行報告】			
	・夜叉ヶ池	6月20日(日)	3～4
【個人山行報告】			
	・武奈ヶ岳・釣瓶岳	6月28日(月)	5～6
	夏原グランド市民環境講座 2021 参加報告		7
【定例会報告】			
	・ 2021年度 第5運営委員会報告書		8～9
	・ お知らせ		
	後期会費等振り込みのお願い		10
	2021年8月予定表		11
<u>表紙写真 夜叉ヶ池 モリアオガエルの卵</u>			

<例会山行報告>

夜叉ヶ池

日時 2021年 6月20日(日)

参加者 CL H部(史)、SL H島、N野、K藤、H浦、Y口(弥)、K原、H部(美)、S井、O村(益)、O村(智)、K嶋、S水、F野、S藤(記録)

行程 集合 6:30 和邇駅=8:00 道の駅あぢかま=坂内川上 P9:20 スタート~11:30 夜叉ヶ池
昼食 12:20 ~14:10 坂内川上 P=和邇駅解散

この日は、参加者 15 人と多く、5 名ずつ 3 班に分かれての山行となる。が、終日 3 班が大きく離れることも無く、終始声の聞こえる範囲での集団行動ができた。

天気は曇りがちではあったが、雲の間から青空が見え隠れするまづまづの天気。しかし前日に雨が降ったこともあり、道はぬかるみ、岩や倒木は濡れていた。数か所あった渡渉の際の水の量も少なくはなかった。

足元のコンディションは要注意の中、濡れて一層美しい木々の緑やそこここに咲くあじさい、谷ウツギ、笹百合などの花々に目を楽しませ貰いながら総距離 4.5 km、上り下り 500m以上を歩く。標高 900m 近くから岩場となり、一人ずつ慎重に…。他の登山客も多くいたが、お互いに譲りあいながら時間をかけて行動していったので、けっこう渋滞する場面もあった。

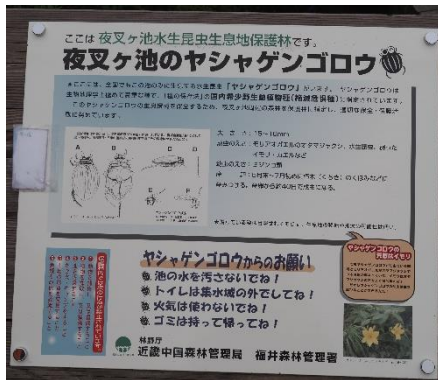
そして 2 時間、登りつめたところを少し下ったところに夜叉ヶ池があった。そこでは、夜叉ヶ池を囲むようにロープが張り巡らされ、池の周辺 3 分の 1 ほどが木製の廊下状になっていて、そこに座って池を眺めて寛いでいる登山者が大勢おり、我々も同じようにそこで昼食をとることになった。池の中には八雲でしか見たことのない赤腹イモリが気持ちよさそうに泳いでいる。保護種のゲンゴロウも見えた。池の水は澄んでいて綺麗。池の周りにはモリアオガエルの白く大きいたまごが満開の花の様に沢山ぶら下がっていた。しばらくするとガスが出て来て湖面を隠していき、そう広くもない夜叉が池の対岸が見えなくなった。もちろん夜叉が池山も見えなくなったので、静かで幻想的なランチタイム後は下山することになる。

帰路は K嶋氏が笹百合の写真撮影に斜面を下る姿に一同皆が集中し、緊張する場面もあったが、K嶋氏は全然大丈夫。「緊張しているみんなの姿を撮ったら面白かったのにね」との F野氏の言葉が面白かった。

そしてあっという間に岩、花、珍しい動植物ありの変化に富んだ楽しい山行も終わりました。一緒に行って下さった皆さん、CLのH部さん、遠方までお車を出して下さったF野さん、N野さん本当に有難うございました。また、美しいお写真を撮って下さるカメラマンの方のお陰で楽しかった山行を二度楽しませて頂いています。感謝です！(記録：S藤)



夜叉ヶ池



(一口感想)

夜叉ヶ池は霧に包まれて幻想的な雰囲気がありました。

また、笹ユリやニッコウキスゲなどの希少高山植物も見ることが出来て、満足出来る山行でした。

(N野)

今日の「夜叉ヶ池」は梅雨の中の晴れ間に恵まれ、わがパーティーも含め団体さんで賑やかな山でした。鎖場と夜叉壁の中にニッコウキスゲも見られ、緊張と楽しみを味わえた山でした。御池の展望を見られなかったのは心残りです。

(H部史)

《個人山行報告》

武奈ヶ岳、釣瓶岳

2021年6月28日（月）薄曇り

参加者 CL H池（記録） SL H島 K林 T中啓 Y口弥 H浦

コース 和邇駅7:10＝細川登山口8:00～細川尾根706M 9:20～武奈ヶ岳11:20～<昼食12:10~12:40>～釣瓶岳13:00～イクワタ峠13:30～<カフェタイム13:40~14:00>～栃生15:00

梅雨前線の上下移動で、天気予報が目まぐるしく変わる蒸し暑い毎日。夏山シーズンに向けて武奈ヶ岳に登っておきたいと思い、タイミングを見計らって行ってきました。

SL以外のメンバーは、細川尾根の経験が1, 2回しかなく、地図読みしながらゆっくり登ろうと思っていましたが、結局先頭をSLにお願いし、私たちは急斜面を登るのに集中させてもらいました。この季節の急登、休憩を頻繁にとる余裕のあるペースで歩きました。登り口から、730Mまでは、そこそこの急登。そこから900M位までが、かなりの急登。私が先頭だったら、どこに足を置こうかと迷っている間にルートファインディングを誤ったかもしれないと思います。登りばかりの3時間余り、しんどかったけど、ポンと武奈ヶ岳山頂直下に飛び出し、爽やかな風と展望が迎えてくれました。

武奈ヶ岳から、蛇谷ヶ峰方面への稜線歩き、釣瓶岳に半分ほど登った座りやすくして展望のよい場所で昼食。イクワタ峠まで道は、葛川沿いの集落や琵琶湖、ガリバー村方面の景色が楽しめました。

イクワタ峠で縦走路から道を分けて栃生へ下山。10分下ったところでカフェタイム。先日紹介して頂いた大阪労山事故事例で、「下山途中14:00は事故多発の魔の時刻」と出ていました。ちょうどいいタイミングで一息入れられたと自画自賛。イクワタ峠から栃生まで疲れた足にはありがたい歩きやすい道で、コースタイムより少し速いペースで下山できました。

途中、笹峠道出合、地蔵山に続くコメカイ道出合があります。数年前までは雪稜会でも利用されていた道だと思いますが、崩れているためロープで通行止めに使われていました。古くから使われていた道が通れなくなってしまったのは残念だなあと感じます。



<夏原グラント市民環境講座 2021 参加報告>

6月26日(土)13:30~草津市立市民総合交流センターにて

「地球環境へのまなざしを持つ地域に根ざした環境保全活動」

講師：仁連孝昭氏 夏原グラント選考委員会委員長、滋賀県立大学名誉教授

夏原グラントの助成を受けている団体は参加義務があるということで、堀池氏と受講して来ました。

地球環境の現況と対策についてのお話でした。現在の地球環境が悪化している事その悪化を食い止めるためには、自然とのつながりを体感する事と、こだわり過ぎず楽しみ経済的に成り立つ実践が重要との事。解決するための必要な4つの事として、SLOCをあげています。Small=小さな組織、Local=地域に根ざしている、Open=情報開示、Connected=地域同士の繋がり。小さな組織で地域に根ざした活動をし、情報の開示によって地域同士がつながる事で新しいものが生まれ、大きな変化となるという事とでした。

当会の課題としては、Open情報開示かなと思いました。清掃登山や水質検査・放射線測定について、もっと世間にお知らせする方法を今後皆さんと一緒に考えていきたいです。

K藤

2021年度 第5回 運営委員会報告書

出席：N村、N野、T中啓、K藤、I井、H部史、K林、H浦、F川、T中利、H野、H島、
K嶋、S内（記録）

欠席：山口一、

場所：和邇文化センター内 和邇コミュニティーセンター第3会議室

日時：2021年7月13日(火) 19時35分～20時25分

1. 登山交流会について

① 第3回リーダー部会（6月16日）の決定事項の確認

- ・2021年登山交流会は、飲み水水質調査兼放射線測定山行を登山交流会とする。
- ・日程は10月末または11月初旬で調整。

② 委員会の決定事項

- ・日程 : 比良雪稜会が主催する登山交流会の日程は、10月31日(日)に決定。
- ・山行コース : 山行コースは、2020年の調査山行コースと同じ。
- ・県連への連絡 : N村会長が10月31日(日)に登山交流会を実施することを連絡。
- ・放射線測定機器 : F川県連理事が手配。

2. 登山祭典について

- ・日程 : 10月24日(日)
- ・山行コース : 中止となった春の公開山行と同じ「マキノ赤坂山～三国山～黒河峠」コースとする。
- ・定員 : 40名
- ・交通 : 貸切バス
(堅田・小野・和邇・近江今津の各駅を経由し、出発地マキノ高原駐車場へ移動)

- ・他 : 野点なし/お菓子なしの普通の公開山行。
友人、知人に声掛けするが、A5版チラシで一般公開とする。
勧誘に必要な案内チラシは、県連が準備。

3. 40周年記念誌の準備状況について (H部史氏)

- ・7月12日(月)、40周年記念誌原稿の最終確認終了。
- ・7月末までに印刷製本を発注し、9月初旬には発行できる見通し。
- ・現時点のページ数は192ページ、編集後記などで1～2ページ増えると思えるが、

30周年記念誌の約2/3のページ数の見込み。

4. 各担当より

- リーダー部：特になし • 遭難対策：特になし • 技術アップ：特になし
- 会計：8月予定の会費振込用紙の会員送付について
 - ① 8月17日(火)開催予定のリーダー部会出席者には、当日手渡し。
 - ② リーダー部会出席者以外の会員には、会報「ぶな」編集作業時に発送作業も実施。
 - ③ リーダー部会の欠席者には、部会後に発送。

上記、3通りの対応とする。

- 自然保護：① 滋賀山友会が進めている「野坂山地の風力発電反対の署名お願い」に関して中野事務局長から署名協力お願いメール(署名は任意)を会員に発信。
 - ② 6月26日夏原プラントの環境講座に参加(H池、K藤)
- 機関誌：特になし • 労山基金：特になし • HP：特になし
- 40周年担当；特になし • 事務局：特になし

5. 県連報告

第4回理事会は県連ニュース7月号に掲載し、第5回理事会は、県連ニュース8月号に掲載予定。

6. その他

- ① 事故事例集（大阪府勤労者山岳連盟）に関して。（K林）
 - 事故事例集は既に完売であり、次回発行時に5部購入を大阪府勤労者山岳連盟に手配。
 - 滋賀県連に対して事故事例集講演会の開催を働きかける。T中理事が連絡する。
- ② 夏原グラント関連の市民環境講座に関する報告。（K藤）
 - 7月18日(日)2回目の環境講座開催予定、N村会長、K藤氏が参加予定。
- ③ 交通費は35円/kmです。
- ④ 会員動向；現会員数44名。

8月の運営委員会は休会。

次回 第6回運営委員会は、9月14日(火)です。

以上

【お知らせ】

☆ 後期会費等振り込みのお願い ☆

後期会費を納入いただく時期となりました。労山特別基金（2021年9月1日～2022年8月31日分）の振り込みも合わせお願い致します。口数に変更のある方は8月10日までにご連絡いただきますようお願いいたします。（その日を過ぎますと事務手続きの関係上、受け付けることが出来なくなりますので、ご了承ください。）

また、発送しました振り込み用紙の請求金額に不明な点等ございましたら、会計樋浦までご連絡ください。
金額を確認の上、過不足なくお振込みいただきますよう、ご協力お願いいたします。

労山基金担当
会計

T中
H浦



2021年8月予定表

1	日		19	木	
2	月		20	金	例会 夏山縦走「別山」
3	火		21	土	例会 夏山縦走「別山」
4	水		22	日	「ぶな」原稿締切
5	木		23	月	
6	金		24	火	
7	土		25	水	
8	祝日	山の日	26	木	
9	祝月	振替休日	27	金	
10	火		28	土	
11	水		29	日	
12	木		30	月	
13	金		31	火	
14	土		編集後記		
15	日				
16	月				
17	火	第4回リーダー一部会			
18	水				
9月の予定					
26	日	例会 雨乞岳			



滋賀県勤労者山岳連盟

比良雪稜会

滋賀県大津市和邇今宿 712-1 西村方

TEL&FAX 077-594-0454

E-mail kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp

HP <https://aquafoal39.sakura.ne.jp/>